

きょうの**人**ごと

信栄食品社長

神倉 藤男さん



「松本で生まれ育った会社。地元に向かひらの恩返しをした」。ギョーザ製造を手掛ける信栄食品(松本市)の神倉藤男社長(46)は、伝統野菜「松本一本ねぎ」を使って商品化したギョーザへの思いを話す。全国のスーパーなどにギョーザをOEM(相手先ブランドに

松本一本ねぎでギョーザPR

よる生産)供給してきたが、松本市農協ねぎ部会の生産者から松本一本ねぎを調達し、初めて実現した本格的な自社ブランド商品。「松本一本ねぎは甘みがあつて粘りもある。特徴を最大限に生かして仕上がった」と手応えを語る。国内のほか、東南アジアへの販路開拓も構想。「黒子に徹してきた」という自社のブランド力を高め「松本の農産物を広め、地元を元気にするお手伝いをしたい」と意欲を見せている。